

飼い主さんの心は愛犬に大きな影響を与えます。愛犬のストレスを軽減するためには、飼い主さんが感じる不安を最小限にすることも大切なポイントです。

飼い主の心が反映する愛犬の心

飼い主さんが悲しいとき、愛犬は自分も悲しくなり、思わず近づいて心配そうに「大丈夫？」などと聞いてきます。また、飼い主さんに何かいいことがあって、楽しそうにしていると、それだけで愛犬もなんだか嬉しそうにしていることよくありますよね。

愛犬の心や気分は、飼い主さんの感情や気の持ちようと深い関係があります。

飼い主さんが不安を感じていると、それだけで愛犬の心の中は不安でいっぱいになります。愛犬のストレスを小さくするいちばんのポイントは、飼い主さんが感じる不安をできるだけ小さくすること、安心して暮らすことです。

そうです、不安を小さくするための重要な工夫とは、準備をしっかりとしておくことです。では、私たち飼い主が愛犬を守るためにしておくといい、いろいろな準備を考えてみましょう。



愛犬を守るために準備しておきたいこと

まず、愛犬の首には、いつも鑑札と迷子札をつけた首輪をしておきましょう。もし、何かのときに私たちのそばから離れてしまっても、必ず再会できるための鍵です。マイクロチップの装着も有効ですね。

次に、リードはすぐに手の届くところに置いておきましょう。何かで、急いで移動しなければならないときに、手元にリードがあると慌てないでいられます。そして、リードをつけた愛犬と外に出るときは、いつもリードを手首に通しておきましょう。愛犬がビックリして急に走りだしたりしたり、飼い主さんが何かの拍子に転んでしまったりしたときにも、愛犬とつながっていることができます。

リードでお互いがつながっていることこそ、愛犬の命を守る大切なポイントです。

それから、犬用の非常持ち出し袋を作っておきましょう。中には何回分かのフード、いつも飲んでいるお水、おしっこシート、懐中電灯など。

日常の暮らしのなかでも準備が大切

もしものときだけでなく、日常の暮らしのなかで準備しておきたいこともたくさんあります。

予防接種はきちんとしておきましょう。クレートやキャリーに入って静かにしてられるように練習しておきましょう。呼んだら飼い主さんのところへ走って来るように、教えておきましょう。また、服を着られるようにしておけるといいですね。

さあ、準備が整ったら、無駄な不安は抱かず、落ち着いて暮らしてください。飼い主さんが安心していることが、ワンちゃんにとってはいちばんの安心ですから。



不安を小さくするには？

スポーツの試合などで、選手がドキドキして不安に押しつぶされそうになっているとき、監督さんがこういう風に言っているのをよく聞きます。

「あれだけの練習をしてきて、準備をしてきたのだから、絶対大丈夫」

愛犬家住宅コーディネーターの  
応援 Mascot AJ です。  
よろしく！



愛犬と暮らす住まいの実例をもっと見たい  
知りたいなら、こちらの本を！愛犬と幸せ  
に暮らす住まいの工夫やヒントが満載です。

「愛犬家住宅」の本！  
「愛犬と幸せに暮らす住まいの本」  
PHP研究所刊（本体 1,500円＋税）発売中！

# Aikenka Navigation

愛犬家住宅ナビゲーション

AJ utaku

Vol 25 Free



K 邸のリビングの天井高は約4メートル。階段を上がるとタタミルームがあり、タタミルームの下にはドッグスペースがあります。ドッグスペースは、玄関からつながるタイル敷きの土間と一段上がったコルクフロアで構成。コルクフロアは天井高が 166cm になっていて、この低めの天井は犬にとっては落ち着き、人にとっては中で動くにもさしざわりのない高さ。ドッグスペースとLDKとの間のドアや地窓(じまど:床面に接した位置にある窓)は、常に中の様子が眺められ、LDKのエアコンの空気も行き渡るように縦格子のルーバーが入っています。ドッグスペースの腰壁はキズや汚れに強いメラミン化粧板、その上の壁は脱臭や湿度調整効果のある壁材。また、天井には、脱臭効果の高い天井埋込型ナノイ発生機も設置してあるので、ニオイも気になりません。ドッグスペースには収納や水栓スペースも設置されています。  
設計：愛犬家住宅コーディネーター  
山本 晴久（認定番号：13111213）



## Dog Space

家族と一緒に、空間を有効利用して  
ドッグスペースをつくりたい

愛犬家の快適な住まいづくりを応援します  
**愛犬家住宅**  
愛犬家住宅 検索

お問い合わせ先